

新電力業界の未来視レポート Tele-Gnosis 2023 ご紹介資料

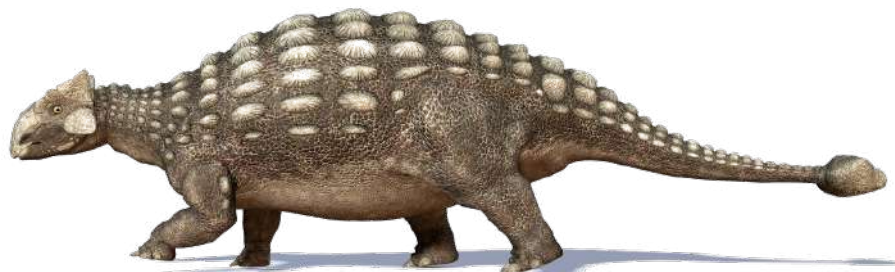


新電力業界のトレンドを、手に取るように把握できる

JEPX やインバランスを、独自の指標で分析的に整理

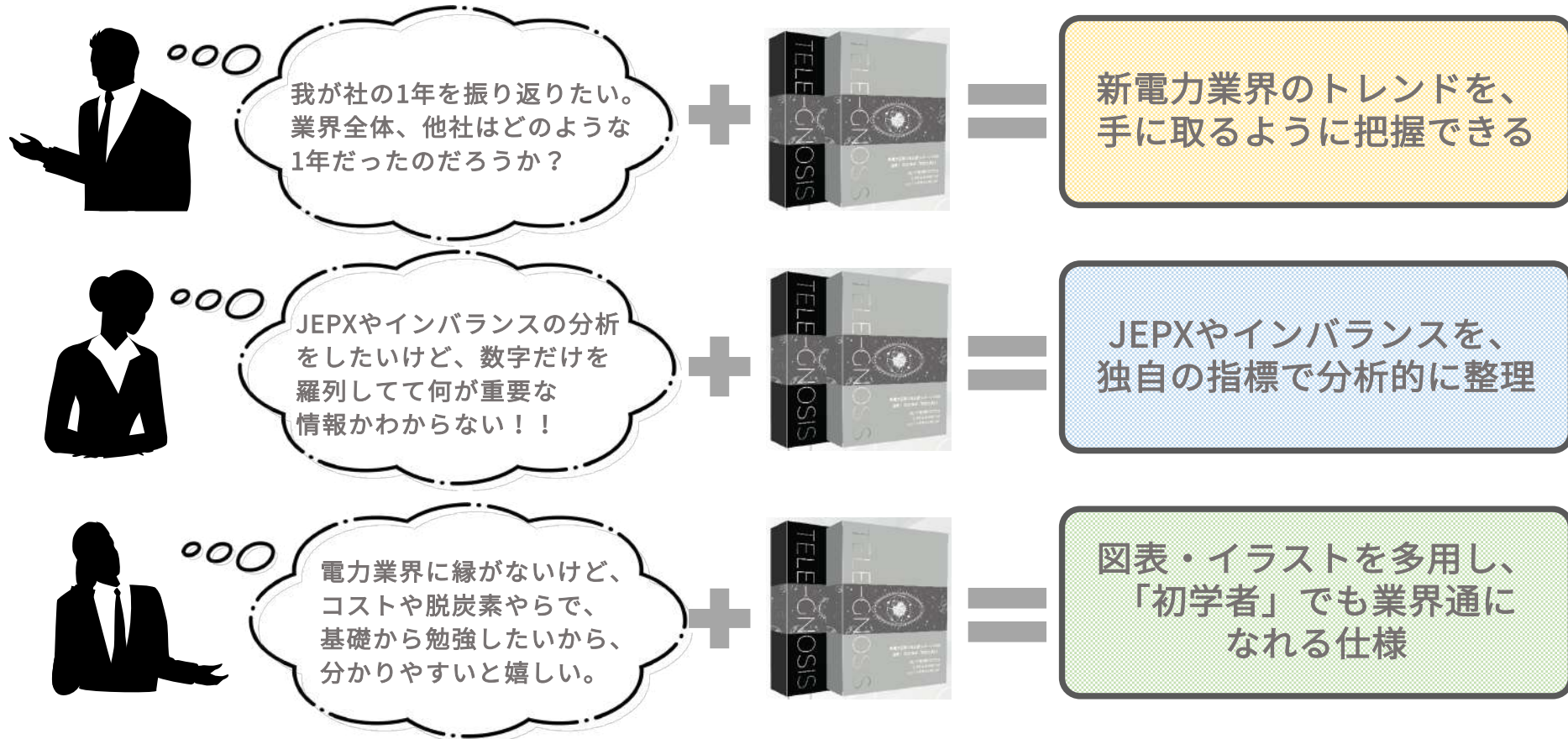
図表・イラストを多用し、
「初学者」でも業界通になれる仕様

- 2011年の東日本大震災の日、私は需給管理オペレーションをしていました。その後、11年程の短い期間ですが、FIT制度を背景にした太陽光バブル、電力全面自由化、JEPXの大高騰など、過渡期ゆえのイベントと共に過ごしてきました。しかし、業界10年の経験など職人の世界では、まだまだ「ひよっこ」です。
- 本レポートは、その未熟な立場の私からの新電力業界考察です。「既に知見も経験も十分だから情報収集も分析も、まして他人の手など借りない」という企業様は読者対象としておりません。むしろ、新規参入から間もなく（5年くらい）分析に手が回らず専門人材もいない、という企業様が読者対象です。
- 2023年以降の世界は、ロシア情勢に端を発する「エネルギーセキュリティの課題」に向けて、今までの電力ビジネスを根本から見直すことを迫られています。皆様が前向きになれるようにと制作しました。
- 下の恐竜は「アンキロサウルス」という白亜紀の恐竜です。強固な鎧で身を固め、強力な尻尾はティラノサウルスの足を砕くことができました。ティラノサウルスは、総力を挙げればアンキロサウルスを倒すことは可能だったはずですが、怪我をしかねない相手を襲うことに意味を見出さず共存しました。
- 大手電力会社をティラノサウルス(Predator) とする場合、アンキロサウルスのような生き方を恐竜界では「Anti-Predator」といいます。私は本レポートを「Anti-Predator」の精神で書き上げました。大手電力を「親の仇」のように捉えるのではなく、日本のエネルギー諸問題の解決に向けて「共闘」を目指す事業者様のための知識、情報の整理箱として活用していただけたら望外の喜びです。



株式会社AnPreenergy
代表取締役 村谷 敬

- ✓ Tele-Gnosisは、新電力業界に関わる方、参入を考える方、出資・融資・投資判断を考える方などを対象に、業界の動向、トレンドを「多角的・客観的・未来視的」に解説します。



初学者歓迎の「安心設計」で読みやすく分かりやすい

前編：2022年の「総括と教訓」

調査要領	ページ
1章 2022年 電力業界環境分析	04
1節 2022年の環境分析 Switch Back	05
2節 新電力業界の各月の出来事・JEPX市況	20
2章 2022年 新電力企業分析	80
1節 2022年新電力企業分析のポイント	81
2節 新電力年間販売量ランキング (2021年10月～2022年9月末)	92
3節 新電力販売電力量上位20社分析	96
1 エネット	96
2 東京ガス	105
3 ENEOS	115
4 SBパワー	124
5 テプコカスタマーサービス	132
6 大阪瓦斯	140
7 auエネルギー&ライフ	150
8 CDエナジーダイレクト	158
9 エナリス・パワー・マーケティング	167
10 出光興産	175
11 エバーグリーン・マーケティング	184
12 ハルエネ	192
13 関電エネルギーソリューション	200

調査要領	ページ
14 シナジアパワー	208
15 大和ハウス工業	216
16 丸紅新電力	224
17 ミツウロコグリーンエネルギー	232
18 楽天エナジー	240
19 東邦ガス	248
20 九電みらいエナジー	257
3章 2022年 大手電力の事業分析	265
1節 大手電力の分析手法	266
2節 大手電力の事業概況分析	273
1 北海道電力グループ	273
2 東北電力グループ	284
3 東京電力グループ	295
4 中部電力グループ	309
5 北陸電力グループ	324
6 関西電力グループ	335
7 中国電力グループ	348
8 四国電力グループ	358
9 九州電力グループ	368
10 沖縄電力グループ	380



後編：2023年の「動向と予測」

調査要領	ページ	調査要領	ページ
4章 2023年以降の電力業界の近未来予測	04	5章 2023年以降の業種別新電力の動向	77
1節 「脱大手」を図る関西電力からの挑戦状! 西日本の覇権争いの開始!!	05	1節 大手都市ガス事業者（都市ガス新電力）の動向	78
2節 JEPX 価格決定セオリーに異変! 2023年以降のJEPX 新セオリーとは!!	12	2節 大手通信事業者（通信新電力）の動向	82
3節 非FIT 太陽光発電は加速する! インバランス制度改正も加速する!!	23	3節 大手LPガス事業者（大手LPガス新電力）の動向	86
4節 需要家新電力の再来! JEPX 連動型プランを応用した電力調達の 極意とは!!	33	4節 地方LPガス事業者（地方LPガス新電力）の動向	90
5節 暴走する地域脱炭素化協奏曲! 脱炭素化請負事業の登場!!	42	5節 石油会社（石油新電力）の動向	95
6節 燃料依存からの脱却! 自治体をめぐり水力発電争奪戦開始!!	52	6節 大手電力会社（大手電力子会社新電力）の動向	99
7節 アグリゲーション時代の開幕! 代行事業のシェア争いの行方は!!	60	7節 自治体（自治体新電力）の動向	103
8節 電力ビジネスの総合格闘技! 系統用蓄電池ビジネスの成功法則!!	68	8節 再生可能エネルギー発電事業者 （再エネ新電力）の動向	107
		6章 電力ビジネスコンサルコラム	110
		1節 Electric Minority Report について	111
		2節 Electric Minority Report	112
		対談1. 分散型電源管理担当者	112
		対談2. 電力トレーダー	124
		対談3. 脱炭素化コンサルタント	138
		3節 Electric Minority Discussion	147



- ✓ 第2章は、新電力事業者の動向を分析します。1節・2節は2022年新電力企業分析のポイントと新電力年間販売量ランキングを分析。
- ✓ 2節では新電力上位20社ごとの①基本情報②歴史③販売量④電源構成⑤2022年動向⑥2022年事業評価チャートを分析。

2 2022年の競争環境

2022年の競争環境を解説する。なお、電力業界の統計数値の集計情報は伝統的に公表が遅くなりがちで、2023年2月に執筆する段階で、開業家の切替件数や電力会社の販売電力量などは2022年9月が最新情報であること。そのため、2022年とは「2021年10月から2022年9月までの12ヶ月」のことである。

2022年は、451万6,605件の需要家が（みなし小売電気事業者）から新電力への移行率は55.4%に留まった。これらの数値は低い。2019年（2018年10月～2019年9月）大手電力から新電力へのスイッチング数があることを鑑みると低下傾向は顕著である。2021年の362,010件から、664,237件に倍と言って過言でない。

図1. 年間のス
（万件）
みなし小売-新電力等

年	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	141	297	336	346	337	315	251

※2022年は、4月～9月の合計数。その他の年は、前年の10月からの12ヶ月間の。出所：電力取引局に参考しAnPrenergy作成。

図4. 新電力の取扱数・受付停止件数

2021年9月時点		2022年9月時点	
順位	事業者名	順位	事業者名
1	エネット	1	エネット
2	東証ガス	2	東証ガス
3	ENEOS	3	ENEOS
4	テブコカスタマーサービス	4	SBパワー
5	SBパワー	5	大塚瓦葺
6	丸電みらいエナジー	6	miエネルギー&タイプ (※1)
7	大塚瓦葺	7	CDエナジーダイレクト
8	KDDI	8	ハルエネ
9	出光興産	9	テブコカスタマーサービス
10	エバグリーン・マーケティング	10	関西エネルギーソリューション
11	エナリス・パワー・マーケティング	11	エナリス・パワー・マーケティング
12	CDエナジーダイレクト	12	大和ハウス工業
13	トニー	13	出光興産
14	シナジアパワー	14	丸電新電力
15	F-Power	15	ミツワロコグリーンエネルギー
16	ハルエネ	16	東邦ガス
17	丸電新電力	17	シナジアパワー (※2)
18	関西エネルギーソリューション	18	日本テレコ
19	大和ハウス工業	19	楽天エナジー
20	ミツワロコグリーンエネルギー	20	エバグリーン・マーケティング

ピンク→前年よりランクアップ
青→前年よりランクダウン
上位20位にランクインした企業

(※1) 2022年7月1日 KDDIから事業継承
(※2) 2022年11月30日 小売電気事業者から移入

出所：電力調査統計参考しAnPrenergy作成

新電力全体の販売量を、新電力の出自（複数企業の出資会社は、出資比率で応分）で整理すると、現在の日本の新電力業界の輪郭が見えてくる。

④電源構成

出所：エネットHP掲載情報より作成

【調達電源種別】

同社の2021年度の電源構成中、最も購入量が多いのはLNG火力発電で、同社は、自前で発電所を保有しないが、株式会社（東京ガス建設）、目黒（大塚ガス建設）など、100万kW級の大型天然ガス発電所を中心に、その電源調達先を有する。

丸電エネの割合は、FITを含めて16%。水力発電（ポンテシオ発電所、三田電（フツウラーリナーナーク）、風力発電（山川朝山風力発電所）、バイオマスパワー発電所、三洋製紙高松工場第2発電所）、地熱発電所（おと開採先は多岐である。なお、JEPX比率は12%と購入量は少ない。

【需要カーブとの関係】

同社の需要カーブは、高圧需要家・特高圧需要家の割合が95.5%を占める傾向となっているはずである。ベース電源はLNG火力、右肩火力のBなどベース型の再エネ発電。他社からの相対調達をみて、需要が多い昼間火力、JEPXを充てていると推察する。特にJEPXからの電源調達は、高圧価格が極端に安くなる時間帯などに限定的に購入しているのではないかと推察する。

③販売量

販売量の推移 (単位: 百万kWh)

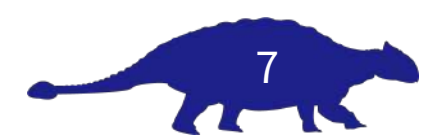
年	特別地区	高圧	低圧	電力	合計
2019年	3,114,488	7,772,388	380,943	142,768	11,490,587
2020年	3,246,255	7,634,344	449,426	211,259	11,541,284
2021年	4,120,425	9,543,795	498,950	223,907	14,387,077
2022年	5,928,007	10,685,104	515,013	275,255	17,403,279

※各年：前年10月からの前年9月までの販売電力量の合計
出所：電力調査統計参考しAnPrenergy作成

販売電力量推移(エネット)

※各年：前年10月からの前年9月までの販売電力量の合計
出所：電力調査統計参考しAnPrenergy作成

電力ビジネスコンサルタントの視点を伝える「分析」の章

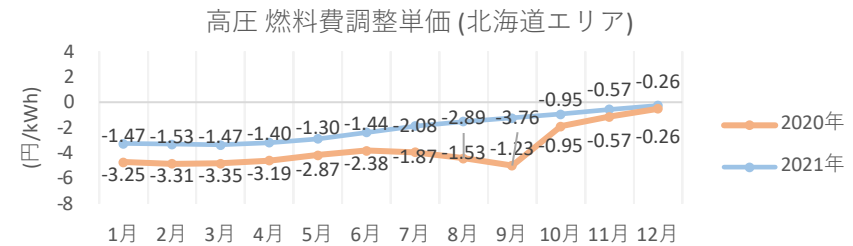
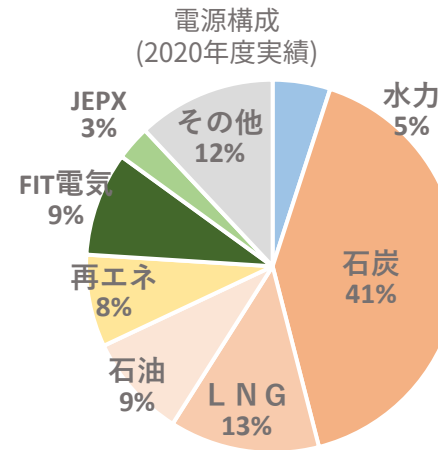


- ✓ 第3章は、大手電力事業者の①主要な事業構成②販売量③喪失率の推移④電源構成⑤ 2022年の新プラン⑥ 2022年の主な活動を紹介します。
- ✓ 新たにリリースしたプラン、他企業との提携など、大手電力の経営戦略が伝わってくる構成です。

大手電力事業者の事業者分析 (発電設備・電源実績・燃料調整費)

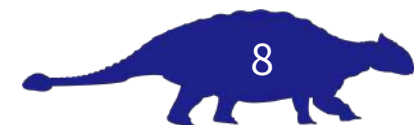
北海道電力グループ発電設備 (2021年10月時点)

発電設備(kW)	北海道電力	北海道電力ネットワーク	合計	
水力発電	1,631,070	415	1,631,485	
火力発電	石炭	2,250,000	0	2,250,000
	L N G	569,400	0	569,400
	石油	1,798,000	16,710	1,814,710
	L P G	0	0	0
	その他ガス	0	0	0
	歴青質混合物	0	0	0
	その他	0	0	0
計	4,617,400	16,710	4,634,110	
原子力発電	2,070,000	0	2,070,000	
新エネルギー等 発電	風力	0	0	0
	太陽光	1,000	0	1,000
	地熱	25,000	0	25,000
	バイオマス	0	0	0
	廃棄物	0	0	0
計	26,000	0	26,000	
その他	0	0	0	
合計	8,344,470	17,125	8,361,595	



※上記サンプルは、2022年版のレポートの図表。本レポートでは情報が更新され、解説文がついています。

大手電力の今、が透けて見える「考察」の章

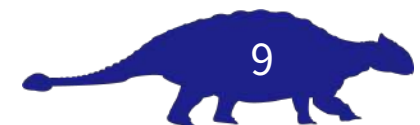


- ✓ 第4章は、電力業界のトレンドの紹介と、将来像を予測します。
- ✓ 大手電力、新電力、発電事業、分散型電源事業など、電力業界の注目分野について独自の視点から考察を行います。

< 4章各節の概要 >

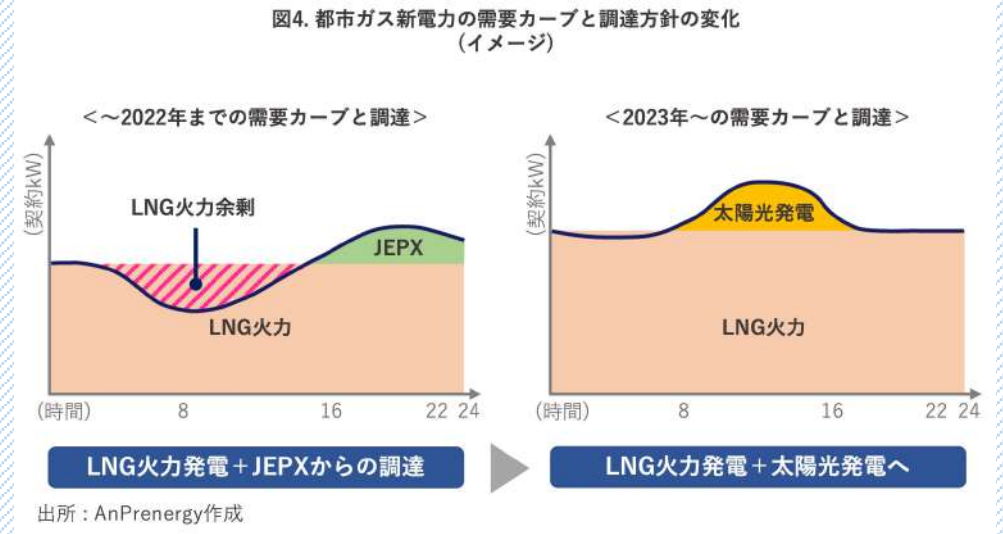
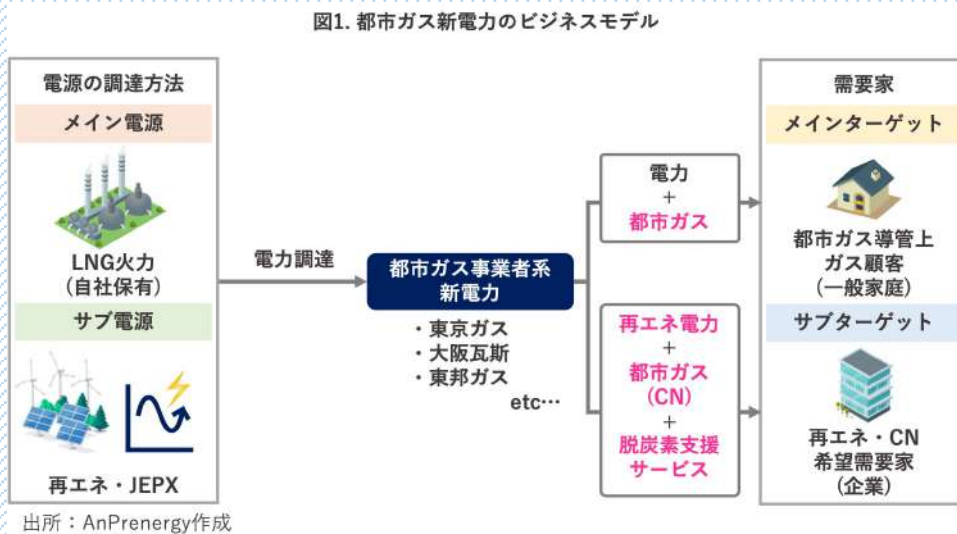
1節 「脱大手」を凶る関西電力からの挑戦状! 西日本の覇権争いの開始!!	大手電力の覇権競争について
2節 JEPX 価格決定セオリーに異変! 2023年以降のJEPX 新セオリーとは!!	2023年以降のJEPXの新トレンドについて
3節 非FIT 太陽光発電は加速する! インバランス制度改正も加速する!!	インバランス制度の厳格化について
4節 需要家新電力の再来! JEPX 連動型プランを応用した電力調達 の極意とは!!	JEPX連動型プランの将来性について
5節 暴走する地域脱炭素化協奏曲! 脱炭素化請負事業の登場!!	地域脱炭素化の難しさ と解決策について
6節 燃料依存からの脱却! 自治体をめぐり水力発電争奪戦開始!!	水力発電の利点と調達方法について
7節 アグリゲーション時代の開幕! 代行業のシェア争いの行方は!!	分散型電源ビジネスの近況 と将来像について
8節 電力ビジネスの総合格闘技! 系統用蓄電池ビジネスの成功法則!!	系統用蓄電池の基礎知識から 実践法について

電力業界の未来予測 + 企画の教科書的な「実践」の章



- ✓ 第5章は、新電力を事業分野ごとに分類して、2023年以降の競争戦略について分析します。
- ✓ 事業分野（都市ガス、通信）ごとの、参入動機やSWOT、将来的に有望な戦略を考察しています。


<5章1節の図表抜粋>



※レポート本体には、解説文がついています。

新電力を分類して将来戦略まで考察した「躍進」の章


- ✓ 新電力業界に在籍経験のある「分散型電源管理担当者」「電力トレーダー」「脱炭素化コンサルタント」に匿名条件でインタビューを実施。
- ✓ 現場のヴィヴィッドな声や、珠玉のマル秘資料（個人使用）を公開します。



有原氏(仮名・32)

対談1.
分散型電源管理担当者


- ・新電力営業部門を経て、需給管理部門へ転籍
- ・新電力でも珍しい「営業・需給管理」の二刀流
- ・2020年に分散型電源管理マネジャーに
- ・特定卸供給事業者の将来像について一家言を持つ



多部氏(仮名・48)

対談2.
電力トレーダー

- ・飲食店のチェーン店事業のスーパーバイザーとして活躍
- ・グループ会社の新電力の需給管理部門を経て電力トレーダーへ
- ・「お小遣い制」で毎日の取引額を決めて、毎日トレード三昧
- ・市場価格の上下要因と、情報の獲得方法を研究している



樽出氏(仮名・51)


対談3.
脱炭素化コンサルタント

- ・大学卒業後、中核都市の環境政策課で勤務
- ・1997年の京都議定書以降、自治体の脱炭素化推進役を務める
- ・2017年に退職、独立した脱炭素化コンサルタント事務所を企業
- ・新電力、自治体、企業の脱炭素化の支援実績豊富

**B氏の需給管理業務時代の
需要予測シート、分析シートなど
(サンプル未公開)**

6章 2節 Electric Minority Report

対談 1. 分散型電源管理担当者



①挨拶と自己紹介

村谷 今回の新電力で需給管理を6年間も務めていらっしゃる凄腕需給管理マネジャーの有原さん(仮名)にお越しいただきました。どうぞ、よろしくお願いたします。

有原 こんにちは。6年という小学生が入学して卒業するくらいですね。私自身、この業界にこれだけ長く続けることになるとは思っていませんでした。なんだか感慨深いです。

村谷 有原さんは、全国で電力小売を実施されている中堅規模の新電力で、ご活躍されていたんですね。

有原 そうですね。私は元々、地元の地域新電力に派遣社員として電力営業をしていました。2年後の2017年秋に、今の新電力に移って需給管理部門に配属されました。

村谷 2017年秋というと、ちょうど新電力が大手電力の厳しい巻き返し営業を受け始めた①頃でしたが、有原さんの部門にも影響はありましたか？

有原 そうですね。需給管理部門と営業部門とちょっと距離のある職場だったので、直接耳にしたわけではないのですが「営業部門が受注して、スイッチング依頼をした需要家の元に、大手電力の担当者が菓子折り持って来られて迷惑した②」ということが頻繁にありましたね。

村谷 このスイッチングの取消しは、需給管理担当者にとっては需要想定が変わるので困りますね。

有原 本当に困ります。受注した段階で、契約日以降の需要カーブがどのように変わるかシミュレーションするので「需要家にならない」という情報の共有が遅れると大きな手間になります。

村谷 ついに問題行為として認定されましたね。実に感慨深いものがあります。

有原 もう、遅いですけどね。エネルギー業界に携わっていると、規制機関には何一つ期待してはいけないなと思知らされてばかりですから(笑)。

村谷 確かに(笑)。

有原 でも、需給管理部門としては、取り戻し営業は結果的に良かったと思えることもあるんです。

村谷 それは、どういうことでしょうか？

有原 一例を挙げると、2019年11月に、2020年4月から契約電力3,000kW、負荷率15%くらいの工場をスイッチングさせようとしたことがあっ

①新電力がスイッチングした需要家を大手電力が狙い定めて再度スイッチさせる営業全般。

②典型的な取り戻し営業の手法。ある需要家がスイッチングする、という情報は、大手電力の送配電部門に送られる。この情報を同グループの小売部門が閲覧し、スイッチングを妨害することで需要家の離脱を防ぐ。

極めてユニークな電力人との本音での「対談」の章



- ✓ 「レポートを読み進めるのは時間がかかる」、「重要なポイントをサマッて欲しい」という声を受けて、前編・後編の各章に解説動画をお付けしています。
- ✓ 当章の情報の見方、抑えておくべきポイントを説明します。

<動画画面イメージ>

2021年1月のJEPX分析前提指標

(°C)	2021年1月		2020年1月		前年同月との差	
	日平均	日最低	日平均	日最低	日平均	日最低
札幌	-4.4	-8.2	-2.3	-5.3	-2.1	-2.9
仙台	1.2	-2.3	4.0	0.8	-2.8	-3.1
東京	5.4	1.3	7.1	3.7	-1.7	-2.4
名古屋	5.0	1.5	7.6	4.1	-2.6	-2.6
金沢	3.9	1.1	6.7	3.9	-2.8	-2.8
大阪	6.2	3.0	8.6	5.8	-2.4	-2.8
広島	5.2	1.7	8.1	4.9	-2.9	-3.2
高松	5.6	1.9	8.4	5.0	-2.8	-3.1
福岡	7.0	3.8	9.5	6.8	-2.5	-3.0
那覇	16.8	14.4	18.7	16.3	-1.9	-1.9

	2021年1月	2020年12月	前月との差	前年同月
売り入札量	28,426,862,450	31,516,025,550	-3,089,163,100	32,288,740,800
買い入札量	36,242,309,300	36,695,590,550	-453,281,250	32,298,540,650
約定量	27,422,697,800	28,912,313,000	-1,489,615,200	26,793,527,300

単位：kWh

2021年1月		24時間 (0:00-24:00)	DT (8:00-22:00)	RPT (13:00-20:00)	RPT (16:00-20:00)
買い入札率	前半	140%	141%	135%	147%
	後半	117%	118%	113%	122%
約定率	前半	100%	100%	99%	100%
	後半	94%	94%	92%	95%

出所：JEPXスポット市場結果より作成

**新電力業界の
未来視レポート
Tele-Gnosis 2023**

1章 JEPX・
インバランス分析

1) 2022年JEPX市況
(北海道・東京・
関西・九州エリア)

解説者：村谷 敬

出所：気象庁過去天気データより作成

CONFIDENTIAL

全章について、注目すべきポイントを解説

※上記サンプルは、2022年版のレポートの図表。本レポートでは情報が更新され、解説文がついています。

12

✓ 本レポート（解説動画）の一部を、モニターとして縁故ある新電力事業者様や金融機関様にお使いいただきました。その御意見を紹介させていただきます。



「業界分析の実務必携レポート」

電力業界は、情報が入ってくるのが遅くて前年の分析は今まで真剣にやってきませんでした。本レポートは、業界分析に必要な情報が、考察付き（動画まで）で入っているので分かりやすく、**今まで以上に分析するのが楽しくなった一冊**です。**辞書的な業界解説資料**でした。

（大手通信事業者系新電力 A部長）



「イラストが多く、新人教育に最適な一冊」

レポートというと、活字が多くて平易な表現で「素人には読めない」ものだとばかり思っていました。私は電力業界で2年目の新人ですが、それでも**イラストが多く、用語解説や基礎知識が丁寧**なので、**新卒への教材**に良いと思います。

（大手製造業 B取締役）



「コンサルタント、いや、"村谷不要"の作品だ」

各章ごとに執筆者が異なるので、考察や分析の切り口が多角的で良いと思いました。そこに動画で需給管理知識を基にした村谷氏独特の考察を「村谷節」で語られると、村谷氏の**コンサルティングをサブスクリプションで受けているのと同じ雰囲気**です。「**村谷氏要らず（？）**」の名作です。

（大手LPガス系新電力 C事業部長）

電力事業者に限られない幅広い企業様からご好評の声



新電力業界の未来視レポート Tele-Gnosis2023

発刊/配信日

2023年5月17日

製作

- ・村谷敬（執筆・編集）
- ・Anti-Pradatorエネルギービジネス研究会員（3名）

商品形態

- ・PDFデータ：体裁：A4
前編：1～3章 389頁
後編：4～6章 149頁
- ・動画：解説動画(1～6章)
前編：ガイダンス、1～3章
再生時間:合計約60分
後編：ガイダンス、4～6章
再生時間:合計約120分

サービス価格

前編：18万円（税込19万8千円）
後編：18万円（税込19万8千円）
前編・後編セット購入：32万円（税込35万2千円）

申し込み方法

当社ウェブサイトのお申し込みフォーム
<https://forms.gle/3kWmZR6aDnZjBPju6>



*PDFデータは、印刷可能、編集不可。

*商品のお渡し後は、料金のお支払い確認後にメールにて、
商品のダウンロードのご案内をお送りいたします。

お問合せ先

株式会社AnPreenergy

〒105-0003

東京都港区西新橋一丁目2番9号 日比谷セントラルビル14階

TELL :03-5532-8043

E-mail : info@anpreenergy.com



- ✓ 2022年版を特別価格にてご提供します。全編に渡る動画解説にて、初学の方でも十分に理解できるような設計となるよう努めました。エネルギーの世界は「日進月歩ながら、一寸先は闇」という、現在地と、行先が分かりにくい競争環境です。皆様の行手を照らす灯台のような立場であれたら望外の喜びです。



発刊/配信日

2022年3月25日 リリース

製作

- ・村谷敬（執筆・編集）
- ・Anti-Pradatorエネルギービジネス研究会員（3名）

商品形態

- ・PDFデータ：体裁：A4 / 約456頁
- ・動画：解説動画再生時間約3時間

サービス価格

450,000円（税別）

225,000円（税込み24,7500円）

申し込み方法:

当社ウェブサイトのお申し込みフォーム
<https://forms.gle/3kWmZR6aDnZjBPju6>





新電力業界の未来視レポート

Tele-Gnosis 2023

お申し込みはこちらから
<https://anprenergy.co.jp/>

